

同窓会は本校生徒の「湧心魂…愛・誇り・自立」を応援します 卒業生が9,779名を超えました

校訓 自主・責任・創造



湧心館高等学校長 上妻 利博

先輩の活躍に続け

新春のお喜びを申し上げます。旧年中は、古田会長を始め同窓会の皆様には、本校の教育活動に物心両面で御支援を賜り、心から感謝申し上げます。今年も変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

昨年、四月に熊本地震がありました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。本校も理科棟や図書館等、施設設備に大きなダメージを受けましたが、多方面からのご支援のお陰で、やっと



この一年を振り返って

同窓会会長 古田 利武

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお元気で新年をお迎えのことと思います。同窓会会員、教職員の皆様には、日ごろから同窓会活動にご理解とご協力賜わり、厚く御礼と感謝を申し上げます。

昨年の九月の前期卒業生を含めると、卒業生が九千七百八十二名となりました。

平成二十七年六月十三日の第一回役員会において、会長という重責を承り、早一年が過ぎてしまいました。

平成二十八年には熊本県内において、色んな災害が発生し、想定外の被害に遭われたことと存じます。一月の大雪から始まり、四月の熊本大震災又六月の土砂災害等、暗いニュースが多く発生しました。

江極だより

発行所
湧心館高等学校
同窓会事務局
熊本市中央区出水4丁目1-2
電話 (096) 372-5311
題字 三嶋 勝彦
http://www.yusinkan.com
同窓生数 9,779人

が、四月十七日の予定されておりましたが、大地震の発生のために、学校近辺の方々も被害に遭われ、グラウンド一杯に車等で避難されて入学式どころでは無かったと聞いております。

なお、本年も同窓会活動は、四月の三課程の入学式からはじまり、三月の三課程の卒業式への出席等、計画し活動してまいります。最後に会の活動に、同窓会会員のご理解とご支援を賜りますようご祈念申し上げますとともに、皆様



☆お便りコーナー

卒業後の近況
平成23年度卒業
(全日制23回生)

宮崎 泰樹



私は平成28年3月熊本学園大学を卒業し、「くまもと

経済」という雑誌をつくる(株)地域情報センターに入社し政治記者として日々繰り広げられる政治ネタを追いかけています。入社後すぐに発生した熊本地震。訳もわからぬまま毎日のように視察に訪れる閣僚や各党の代表の取材に明け

暮れる日々でした。入社して8ヶ月経ちました。失敗の連続ですが、先輩方に支えられながら日々学びを深めています。

私が湧心館高校を卒業したのは5年前。まだ標準服も無い時代でスーツで卒業式に臨んだのを思い出します。友達と過ごしたこの3年間いろいろなことがありました。鬼のように厳しい体育の先生に怒られたこと、数学の授業をサボって廊下に立たされたこと(笑)怒られてばかりの高校生活でしたが、ここで身につけた忍耐力のおかげでハードな毎日を何とかこなせていると思います。母校の先輩たちを追いかけて、後輩たちに尊敬されるような人間になれるよう今後も精進します。

平成28年度同窓会予算書

1. 一般会計 (収入の部)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	1,310,000	1,450,000	△140,000	全日制 110名×5,000円 定時制 32名×5,000円 通信制 120名×5,000円
繰越金	344,168	299,907	44,261	
雑収入	50	48	2	預金利息
計	1,654,218	1,749,955	△95,737	

(支出の部)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事務通信費	740,000	731,000	9,000	同窓会新聞郵送料、封筒印刷代、ホームページ年間管理料 同窓会事務処理用パソコン更新代
会議費	250,000	250,000	0	役員会活動費、役員懇談会
学校行事費	150,000	160,000	△10,000	卒業証書用ホルダー
会報費	150,000	150,000	0	同窓会新聞印刷代、新聞広告代
名簿管理費	100,000	100,000	0	同窓会新聞郵送用宛名シール代
給与	60,000	60,000	0	事務補助職員手当
積立金	150,000	200,000	△50,000	同窓会積立金
予備費	54,218	53,955	263	
計	1,654,218	1,704,955	△50,737	

2. 特別会計

前年度からの繰越金 3,798,962円

平成27年度同窓会決算書

1. 一般会計 (収入の部)

科目	当初予算額	補正予算額	決算額	増減	備考
会費	1,450,000	0	1,380,000	△70,000	276名×5,000円
繰越金	299,907	0	299,907	0	
雑収入	48	0	123	75	預金利息
計	1,749,955	0	1,680,030	△69,925	

(支出の部)

科目	当初予算額	更正額	更正予算額	決算額	予算残額	備考
事務通信費	730,000	1,000	731,000	730,950	50	同窓会新聞郵送料、封筒印刷代、ホームページ年間管理料
会議費	250,000	0	0	238,646	11,354	役員会活動費、役員懇談会
学校行事費	160,000	0	0	131,000	29,000	卒業証書用ホルダー
会報費	150,000	0	0	119,420	30,580	同窓会新聞印刷代、新聞広告代
名簿管理費	100,000	0	0	60,869	39,131	同窓会新聞郵送用宛名シール代
給与	60,000	0	0	50,225	9,775	事務補助職員手当
積立金	200,000	0	0	0	200,000	
予備費	54,955	△1,000	53,955	4,752	49,203	ドメイン名登録サービス契約更新料
計	1,704,955	0	1,335,862	369,093		

(残高の部)

収入決算額	支出決算額	残高合計	摘要
1,680,030	1,335,862	344,168	残高は平成28年度へ繰り越し

2. 特別会計

収入	支出	残高	備考
前年度繰越金 3,798,175	本年度積立金 0	預金利子 787	合計 3,798,962
			0 3,798,962
			残高は平成28年度へ繰り越し

3. 監査報告

関係諸帳簿及び書類を監査した結果、上記のとおり相違なく正確かつ適法に執行されていることを認めます。
平成28年 5 月23日

監査

宇野春美
山口美重子



4月15日
金曜日
前夜の揺れで倒れたキャビネットを元に戻し、散らばった教材やガラス片を片付け、施設設備の点検を終え、2日後に予定している入学式は実施することを確認して帰途につきました。その夜、もっと強い揺れが熊本を襲うとは想定できず……。



本年度
全日制は、4月8日（金）の入学式で新生123名（男子66名、女子57名）を迎え、全校生徒378名（男子195名、女子183名）で新たな1年間をスタートしました。しかし、新入生が学校生活にようやく慣れ始めた頃、前震と本震の2回の大地震が熊本を襲いました。本校は、建物の倒壊などの深刻な被害こそなかったものの、水道、電気、ガス等のライフラインが全て停止してしまい、前震翌日の15日（金）からゴールデンウィーク明けの5月9日（月）まで、学校を休校とせざるを得なくなりました。この間本校は、被災された住民の方々の一次避難所となり、地震直後は、数百人の方々が体育館や駐車場に避難生活を送っていました。一方、生徒の家庭においても、住宅の倒壊や家財の損壊等、多くの生徒とその家族が長期間にわたる避難所での生活を余儀なくされました。余震の数も減り、復旧、復興の言葉が聞かれるようになって5月、ようやく学校も再開の日を迎えることになりました。また、避難所で生活する生徒の数も多く、時折大きな余震もありましたが、折ふりの友人やクラスメイトとの再会に、自然と笑顔がこぼれる姿が見受けられました。学校は再開できたものの、今なお体育館や図書室、一部の教室が地震の影響で使用出来ない状況が続いています。4月、5月に予定していた行事は全て中止か又は延期とし、年間のスケジュールを全て組み替えることになりました。6月上旬の高校総体・総文祭にも地震の影響がありました。本市内を中心に行われている総体競技のほとんどが震災の影響の少ない地域に分散して実施となり、県立劇場で予定されていた総文祭は中止となりました。本校の各運動部は、地震の影響で練習もままならない状態での出場でしたが、それぞれの全力を尽くし、よく健闘しました。



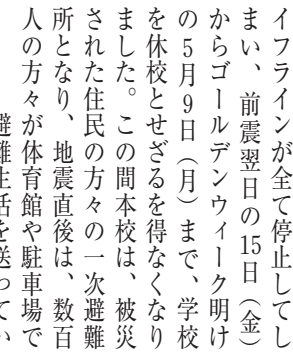
本年度
定時制課程は33名の新入生を迎え、生徒数146名（男79名、女67名）で出発しました。上妻利博校長は、年度当初のあいさつの中で、「新学期を迎え、生徒は、リセット、リボン、リスタート。私たち清新の気で行きましょう」と訓示がありました。今年生徒に求める姿勢として「自己変革 昨日の自分を今日を超えよう！ 今日自分を明日を超えよう！」を掲げ、生徒の能力を最大限に伸ばすことを目指しました。

大阪・姫路で素晴らしい思い出作りができました。○各種検定取得状況（11月末現在）は、日商簿記検定3級6名。全商珠算電卓検定1級普通計算5名、2級1名、3級1名。全商ビジネス文書実務検定1級2名、1級速度2名、1級文書1名、2級2名、2級速度2名、3級9名、3級速度1名。3級文書1名。延べ33名が合格しました。

通信制教頭 土井裕三子
平成28年4月の定期異動で本校通信制教頭職を拝命し、着任いたしました。前任校の第一高校をはじめ、これまで勤めた学校で関わった何人かの生徒を通信制に送り出したことがありましたが、受け入れる側になって、通信制に学ぶ生徒とそれを支える教職員、努力を、改めて身に染みて感じているところです。同窓会の皆様にもいつも温かく接していただきありがとうございます。微力ではありますが、湧心館高校の発展のために尽くす所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



77人の新入生に対して「入学式」という形でその門出を祝います。励ますことができます。10月、新入生6人を迎えて後期がスタートしました。10月1日現在、転・編入学生を含め、本校495人、協力校97人、合計592人が在籍しています。文化の秋、スポーツの秋にふさわしく、校内文化発表会や県定通文化大会、クラスマッチといった行事が行われ、生徒たちにとつて、日々の活動成果を発表したり協力して物事に取組んだりするともに、プロの芸術・芸能に触れる機会となりました。



6月には会場を八代市に移して県定通体育大会が開かれ、通信制からはバレーボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球の4種目に出場しました。大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生

通信制近況

教頭 土井裕三子

6月には会場を八代市に移して県定通体育大会が開かれ、通信制からはバレーボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球の4種目に出場しました。

大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生

全日制近況

教頭 古閑 千尋

本年度
全日制は、4月8日（金）の入学式で新生123名（男子66名、女子57名）を迎え、全校生徒378名（男子195名、女子183名）で新たな1年間をスタートしました。しかし、新入生が学校生活にようやく慣れ始めた頃、前震と本震の2回の大地震が熊本を襲いました。本校は、建物の倒壊などの深刻な被害こそなかったものの、水道、電気、ガス等のライフラインが全て停止してしまい、前震翌日の15日（金）からゴールデンウィーク明けの5月9日（月）まで、学校を休校とせざるを得なくなりました。この間本校は、被災された住民の方々の一次避難所となり、地震直後は、数百人の方々が体育館や駐車場に避難生活を送っていました。一方、生徒の家庭においても、住宅の倒壊や家財の損壊等、多くの生徒とその家族が長期間にわたる避難所での生活を余儀なくされました。余震の数も減り、復旧、復興の言葉が聞かれるようになって5月、ようやく学校も再開の日を迎えることになりました。また、避難所で生活する生徒の数も多く、時折大きな余震もありましたが、折ふりの友人やクラスメイトとの再会に、自然と笑顔がこぼれる姿が見受けられました。学校は再開できたものの、今なお体育館や図書室、一部の教室が地震の影響で使用出来ない状況が続いています。4月、5月に予定していた行事は全て中止か又は延期とし、年間のスケジュールを全て組み替えることになりました。6月上旬の高校総体・総文祭にも地震の影響がありました。本市内を中心に行われている総体競技のほとんどが震災の影響の少ない地域に分散して実施となり、県立劇場で予定されていた総文祭は中止となりました。本校の各運動部は、地震の影響で練習もままならない状態での出場でしたが、それぞれの全力を尽くし、よく健闘しました。

6月には会場を八代市に移して県定通体育大会が開かれ、通信制からはバレーボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球の4種目に出場しました。

定時制近況

教頭 平江 良樹

本年度
定時制課程は33名の新入生を迎え、生徒数146名（男79名、女67名）で出発しました。上妻利博校長は、年度当初のあいさつの中で、「新学期を迎え、生徒は、リセット、リボン、リスタート。私たち清新の気で行きましょう」と訓示がありました。今年生徒に求める姿勢として「自己変革 昨日の自分を今日を超えよう！ 今日自分を明日を超えよう！」を掲げ、生徒の能力を最大限に伸ばすことを目指しました。

大阪・姫路で素晴らしい思い出作りができました。○各種検定取得状況（11月末現在）は、日商簿記検定3級6名。全商珠算電卓検定1級普通計算5名、2級1名、3級1名。全商ビジネス文書実務検定1級2名、1級速度2名、1級文書1名、2級2名、2級速度2名、3級9名、3級速度1名。3級文書1名。延べ33名が合格しました。

通信制教頭 土井裕三子
平成28年4月の定期異動で本校通信制教頭職を拝命し、着任いたしました。前任校の第一高校をはじめ、これまで勤めた学校で関わった何人かの生徒を通信制に送り出したことがありましたが、受け入れる側になって、通信制に学ぶ生徒とそれを支える教職員、努力を、改めて身に染みて感じているところです。同窓会の皆様にもいつも温かく接していただきありがとうございます。微力ではありますが、湧心館高校の発展のために尽くす所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

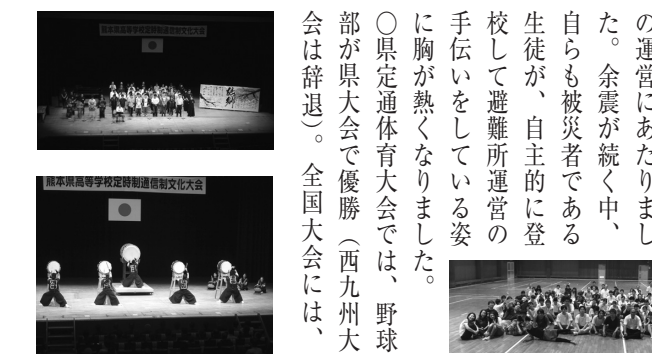
通信制教頭 土井裕三子
平成28年4月の定期異動で本校通信制教頭職を拝命し、着任いたしました。前任校の第一高校をはじめ、これまで勤めた学校で関わった何人かの生徒を通信制に送り出したことがありましたが、受け入れる側になって、通信制に学ぶ生徒とそれを支える教職員、努力を、改めて身に染みて感じているところです。同窓会の皆様にもいつも温かく接していただきありがとうございます。微力ではありますが、湧心館高校の発展のために尽くす所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生



大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生



大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生

大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生

大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生

大会が開催され、参加できるという、それまで当たり前に思っていたことに改めて感謝しながら、出場選手・応援生